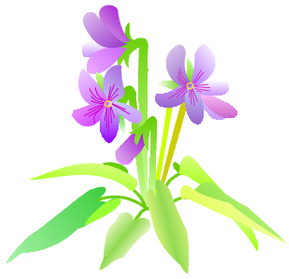
図 書 館 だ よ り



２０１９年（令和元年）

５月　７日　・　火曜日

第　１８　号(新着図書号)

北海道旭川永嶺高等学校
図　書　局

新着図書の一部を紹介をします。新着図書はまとめて展示しています。ほかにもいろいろな分野の図書を購入したので、来館して見てください。
図書は、請求記号、書名、著者、出版社の順に記載しています。

請求記号　　書　名　　著　者　　出版社

０　総記

０２１　**撮ってはいけない**

飯野たから　自由国民社

本書は、スマホと SNS をめぐるトラブルの他、映像や音楽、ゲームなどネットに関わるトラブルの解決法や防止法を、具体例を使い､わかりやすく説明してあります。また、肖像権やプライバシー権の他、著作権法の私的使用目的や引用、非営利の演奏などについても、法律的な考え方だけでなく、相手への対応の仕方やコツなど具体的なアドバイスも紹介しています。

１　哲学

１４１　**声のサイエンス**

山崎広子　ＮＨＫ出版

なぜ人は録音した自分の声が嫌いなのか? どうして「いい声」の人の言葉には、そうでない人より説得力があるのか? 私たちが何気なく使い、聞いている声には、絶大な力が秘められています。それは人の心を動かし、揺さぶり、自分自身の心身さえ変えていく力を持っている――。声という神秘的で謎に満ちた「音」の正体を、多彩な知見と豊富な事例からひもとく。
朝日、日経の新聞書評でも紹介。

２　歴史

２８９　**生きて帰ってきた男**

小熊英二　岩波書店

とある一人のシベリア抑留者がたどった軌跡から、戦前・戦中・戦後の日本の生活面様がよみがえります。戦争とは、平和とは、高度成長とは、いったい何だったのか。戦争体験は人々をどのように変えたのか。著者が自らの父・謙二(一九二五‐)の人生を通して、「生きられた二〇世紀の歴史」を描き出します。小林秀雄賞を受賞しました。週刊読書人（書評専門紙)、朝日、毎日、読売、東京等の各新聞の書評でも取り上げられ、新書大賞第２位になった著作です。

２９５　**アティカス、冒険と人生をくれた犬**

トム・ライアン　集英社

ミニチュア・シュナウザーのアティカスと、高所恐怖症の太った中年男トム。あり得ないコンビが冬季 2 シーズンで 147 峰を制覇! チャリティ冬山登山を成功させました。人生を変えた犬との友情、自然のすばらしさを描いた心温まる感動の実話です。 犬のかわいらしさ、登山の醍醐味も味わえるこのノンフィクションは、全米から支持を受け、ニューヨークタイムズベストセラーとなり、その後もロングセラー。朝日新聞書評等でも紹介。

３　社会科学

３７１　**居場所がほしい**

浅見直輝　岩波書店

中学時代に 2 年近くにわたる不登校・引きこもりを経験。昼夜逆転の生活の中でネトゲに没頭するも、一念発起して高校、大学へ進学しました。その体験から、現在は、生き難さを抱える当事者と親たちに寄り添う活動やプロジェクトを展開中です。ネガティブに語られがちな「不登校」を、人生のチャンスと考え生きる著者が語る過去、今、そして夢。

３８３　**和菓子を愛した人たち**

虎屋文庫　山川出版社

永い間、人々の歴史や人生の瞬間に、付き添うようにして食されてきた和菓子。一見、素朴に見える羊羹も、味の深みや繊細な陰翳が向田邦子、夏目漱石らに愛されてきました。本書は、武士や貴族そして文化人まで、歴史に登場する人たちと和菓子の隠れたエピソードを綴っています。週刊読書人（書評専門紙)、毎日新聞で紹介。

３８８　**珈琲の世界史**

旦部幸博　講談社

先史時代から現在に至るまで、コーヒーが辿った歴史を、起源に関する最新仮説なども交えながら、わかりやすくまとめといます。「イギリス近代化の陰にコーヒーあり」「フランス革命の陰にもコーヒーあり?!」「世界のコーヒーをナポレオンが変えた?」「コーヒーで成り上がった億万長者たち」「東西冷戦とコーヒーの意外な関係」など、世界史の時間に習ったいろんな出来事が、じつは意外なかたちでコーヒーとつながっていることに、きっと驚かされるでしょう。
毎日新聞の書評でも紹介されています。

３８９　**世界のタブー**

阿門禮　集英社

タブーとは、禁止された事物や言動を意味します。それは、マナーやエチケットのような行為から、差別用語や特定の言葉、権力側が封印しておきたい歴史的・社会的問題まで、幅広い領域にわたります。アメリカ大統領が人種や宗教に関する排他的発言を繰り返したり、日本国内でも公然とヘイトスピーチが行われる現在の風潮のなかで、侮蔑的、差別的なニュアンスをともなう言動について知ることは、私たちの新たな教養とも言えます。日常生活、しぐさ、性、食事など世界中のタブーについて学び、異文化への理解を深める一助となる一冊です。